

綱領

- 1、我々は、臨床を通して古典を再検討し、
病体を通じて経絡経穴を把握し、
以って伝統的な鍼灸術の本道を体得せん事を期す。
- 2、我々は、正しい経絡治療の学理と術技を修得する事によって、
鍼灸人としての人格と実力を涵養（かんよう）し、
以って鍼灸家の社会的地位を確立せん事を期す。
- 3、我々は、古典による経絡理論を正しく理解実践し、
経絡経穴の普及啓蒙に努め、
以って偉大な祖先の文化遺産を伝承せん事を期す。

綱領（問題①）

- 1、我々は、臨床を通して（①）し、
病体を通じて（②）を把握し、
以って伝統的な鍼灸術の（③）せん事を期す。

- 2、我々は、正しい経絡治療の（④）する事によって、
鍼灸人としての（⑤）し、
以って鍼灸家の（⑥）を確立せん事を期す。

- 3、我々は、古典による経絡理論を（⑦）し、
経絡経穴の（⑧）に努め、
以って（⑨）事を期す。